

高知学園大学・高知学園短期大学 8号館



教室 北全面開口



中廊下



CLT 3層通し壁

【建物概要】

■ 所在地	高知県高知市福井町	■ 構造規模	木造3階建て(製材+集成材+CLT) 60分準耐火構造
■ 設計・監理	(有) 艸建築工房	■ 建築面積	603.58 m ²
■ 構造設計	(株) 桜設計集団構造設計室	■ 延べ面積	1,623.40 m ²
■ 構造計算ルート	ルート3	■ CLT使用部位 最大サイズ	壁(短辺方向) 5層5プライ 2.2m×11.3m×150mm(2枚合せ) 床(2階・3階・R階) 3層3プライ 1.5m×12m×90mm
■ 設備設計	(株) アルティ設備設計室	■ CLT使用量	287.4 m ³
■ 施工	(株) 岸之上工務店	■ 工期	2019年8月～2020年2月

60分準耐火構造の木3学で、東西36m、南北15m程の長方形プランです。教室を北側に配置し、北面を全面開口(FIXガラスと上部に排煙窓)とし、1mピッチの柱と各階に大きな庇を持つ特徴的な外観です。東西方向は筋かいで、南北方向はCLT(150mm厚2枚合せ)の3層通し壁で水平

力に対する剛性を確保しています。東西方向の耐力壁線距離が最大 22mと大きいので、各階の床面の水平剛性確保にもCLT(90 mm厚)を用いています。庇もCLTの持ち出しで構成されています。

インタビューでは、RC造から木造への変更経緯や、木造ならではの学外周辺への影響等のお話を伺えました。実験室の水栓やガス等まで細かな調整をして使い勝手の良いものが出来、学生の評判もいいというお話もありました。設計者からは、木造への変更提案から、構造計画上の特徴、実習室で気流発生を抑えられる床輻射冷暖房等について、また今後木造を検討する設計者へのひとことをお話いただきました。